

# 四谷の

# 千枚田だより



第 214 号



## 中山間地域直接支払制度 生産活動の実施

四谷集落協定(二十九戸)は、令和三年度第一回生産活動として農道、水路、周辺の林地の草刈り及び清掃を行った。三班に分かれ、無住地の荒廃農地や耕作放棄地の水路や斜面の除伐・草刈りで千枚田が見違えるように整った。



## エコネットあんじょう視察対応

エコネットあんじょう(特定非営利活動法人地球温暖化対策地域協議会)は、市民に対して、地球市民として環境に対する意識の高揚を図るための啓発活動および安城市の環境課題を具体的に解決する事業を実施。さらに安全で持続可能な地域の良好な環境の保全と創造に寄与することを目的として事業を実施している団体で、恵まれた環境を保持している「四谷の千枚田」には過去数回訪れ、環境保全研修・観察会等を実施、また、「四谷の千枚田」の環境活動をテーマに講演なども依頼され、安城まで出向いたりして心地よい関係を保っている。

七月十日、大勢の会員が千枚田の視察を望んだがコロナ禍の「密」を避けるため、安城市の方針で九名のみ参加となった。

ふれあい広場から眼下に見下ろす展望に感嘆の声を上げ、十王堂伝説には、集落の文化継承に興味津々。昔、この地は海であった証拠に第二東名を降りて大海、有海、海老と海に因んだ地名がある。等々の説明に大人の参加者も目を輝かしていた。

## 絵画コンクール作品募集

2021「四谷の千枚田」絵画コンクール(主催 鞍掛山麓千枚田保存会・東三河郵便局 共催 新城市、新城市教育委員会、新城市観光協会、奥三河観光協議会、東愛知新聞社)で実施します。応募対象は小学生・中学生。入賞者には本年度新米・図書券・五平餅セット他多数。

問い合わせは NPO 法人国内産米の粉伝統食文化推進ネットワーク

☎ 0532-29-0808

<http://kokukome.com/>

東三河管内郵便局、千枚田掲示板チラシ・応募ハガキがあります。

## 開催にあたって

止まる気配のない新型コロナウイルス感染症の影響で世の中のすべてが自粛、自粛と委縮ムードの昨今、こんな時だからこそ、かえって明るい話題として小・中学生を対象に四谷の千枚田をテーマに自由に描いていただければと企画しました。

なお、この企画には千枚田の余剰米(古米)を使用した千枚田五平餅を郵便局の宅配便や道の駅など、全国展開でお馴染みの「八雲だんご」鈴木社長さんの四谷の千枚田保存継承への大きな思い入れから毎年、実施されております。

「四谷の千枚田」2021

# 絵画コンクール

作品募集

**受付期間** 令和三年 8月1日～9月30日

**テーマ** 「四谷の千枚田」 四谷の千枚田の「自然」や「農作業風景」、「体験学習」など、自由に描いてください

**応募対象** 小学生・中学生

**応募方法** チラシと一緒に配布される専用ハガキでご応募ください  
①東三河郵便局店頭 ②新城市立風来寺山自然科学博物館内  
③四谷の千枚田案内看板前 ④八雲だんご直売店他にも置いてあります

**審査** 10月中旬以降に鞍掛山麓千枚田保存会、東三河郵便局が応募者の中から入賞者を選出、NPO 国米ネットホームページ上で発表。

**主催** 鞍掛山麓千枚田保存会、東三河郵便局

**後援** 新城市、新城市教育委員会、新城市観光協会、奥三河観光協議会、東愛知新聞社

**問合せ** NPO法人国内産米の粉伝統食文化推進ネットワーク  
☎0532-29-0808 ㈱丸八製菓内  
(当 NPO 法人ホームページ: <http://kokukome.com/>)

F千枚田の  
シリアガエル

入賞商品

本年度新米・図書券・五平餅セット他多数

当 NPO 法人ホームページで発表後、新城市内公共施設等で入賞作品を展示予定です

応募いただいた全ての作品は返却いたしません。また、受賞作品に限らず、全ての作品の使用権は、主催者に帰属するものとします。主催者と協賛社が作成する出版物、広告媒体、ホームページ等に作品と学校名・学年及び氏名を無償で使用させて頂く場合がありますのであらかじめご了承ください。

応募してね

四谷の千枚田の四季おひかりの風景を掲載しております。是非ご自身のQRコードからご覧ください。

## 間断かん水

千枚田の稲作は大変だ。

巷では、日本三大石積棚田とか急傾斜地など、見た目の景観はやたらと褒められているが、この「よたくれ田んぼ」を騙したり、だまされたり、耕す百姓は、たまったもんじゃあない。

まず、朝な夕なに水管理、放つておくとサワガニやモグラで田んぼが干乾びちゃう。幼穂形成期までに中干しを完了したいものの、一旦干してしまおうとひび割れで水が浸かなく、後が大変だ。

そこで、一考を講じてみた。

あまり、殺虫剤は使いたくなく、害虫(ウンカやカメムシ)はカエルに食べてもらうように、オタマジャクシがカエルになるのを待って「間断かん水」を試みた。

時期の把握は、日常の水見の際、畦畔を歩く目の前に無数のカエルが飛び交う時をタイミングとした。

この方法は、入水から再び入水までの期間を長くする水管理方法で、稲の生育中期以降(中干し時期)を行う。具体的には入水して三〜四日放置、水が減って田んぼの高いところに軽くヒビが入り始めた頃に再び入水、それを繰り返す、毎日入水するよりは手間がかからず、なおかつ稲には水と酸素が供給され、作土の

ガス抜きにもなる。常時灌水よりも根張りが良くなり丈夫な稲が育つ。

この時期に珪酸加里など追肥(実肥)を施せば倒伏も軽減、「しいな」「くず米」も少なくなる。

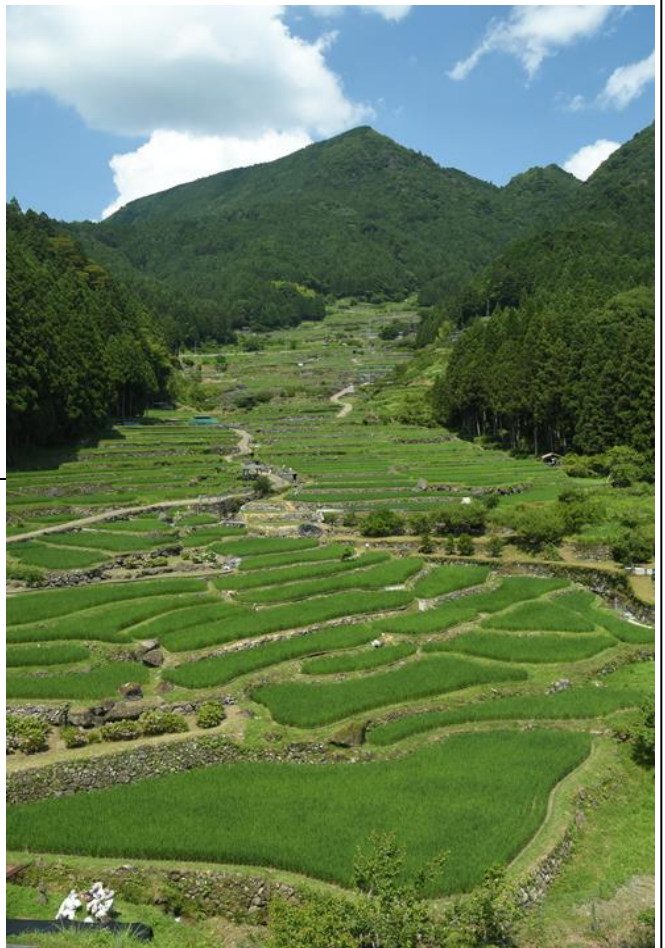
間断かん水終了後は深水にする。

### 一口メモ

玄米の等級を決める検査規格は厳しく、斑点米(カメムシ)による吸汁の跡が残ったものが一千粒の中に二粒以上混ざっただけで一等米と認められない。また、登熟初期に吸汁されると斑点米とはならず、しいなやクズ米となってしまう。

### 地域の花 鳳来寺百合(山ユリ)

この地域には昔から鳳来寺百合が咲いていた。このユリも平成十二年頃からイノシシが頻繁に出没。球根があまりにも旨いためか、どこからどこまでも掘り尽くされ、地域の花として親しまれられていたホウライジユリの花がみられなくなってしまう。



花が咲かなくなつてから二十年余り、今年はやたらとホウライジユリの蕾が見られる。その原因としてイノシシが極端に減少したことが一因と思われる。でも六月三十日、いなくなつたと思つたイノシシの足跡が蕾の付いたユリの側で、やつとかめに確認された。イノシシは毎年、花が咲いた頃に一度偵察に来て、花が散り、球根に栄養が蓄積された時期を狙って掘り来る。イノシシが減つた減つたと言つても、この足跡があることからユリの球根を狙つたイノシシが田んぼでヌタを打たないとは限らない、困つたことだ。

### 念仏踊り

身平橋組・西組共進連で伝承される念仏踊りは太平洋戦争の戦時中も村人は、こっそりと戦死者の供養をと念仏・はね込みを行ってきた。どんな時でも、脈々と継続、継承されてきた歴史的な伝承文化であったが、その伝統ある念仏踊りも終息の見えないコロナ禍で今年、やむなく中止となった。まことに残念

行 令和三年七月十五日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山舜二